



第39号

発行日

2015年3月20日
《隔月15日発行》

石産協通信

sekisankyo tsuushin



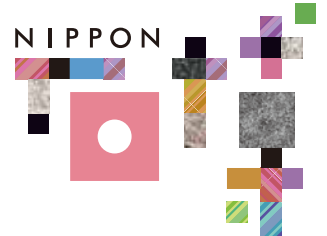
一般社団法人
日本石材産業協会
The Japan Stone Industry Association

東京都千代田区神田多町2-9 日計ビル2階
Tel:03-3251-7671 Fax:03-3251-7681
<http://www.japan-stone.org/>
企画・編集・発行:広報委員会

NIPPON石博2015 開催

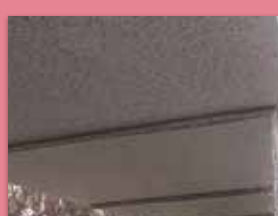
2015年3月7日(土)・8日(日) 上野恩賜公園

来場者数 35,000人 両日ともあいにくのお天気で真冬のような寒さにもかかわらず、
(7日 20,000人・8日 15,000人) 大勢の方にご来場いただきました。





経済産業省 宮村康夫様、川内村村長 遠藤雄幸様とともに開会式





(一社)
日本石材産業協会
会長
いば かつ ゆき
射場一之

微力かもしれないが、 けっして無力ではない。

去る3月7日・8日に開催したNIPPON石博、おかげさまで大盛況のうちに終わることができました。改めて、ご尽力いただいたすべての皆さまに心から感謝いたします。なかでも、「陰の人を支える、さらに陰の人」に感謝を申し上げます。陰で黙々と準備にあたってくださる方がいるから事業の成功があります。そして、SNSなどで石博を告知してくださった方々など、陰ながらの応援も石博の成功に大いに貢献してくれました。日陰のあなたの石博に対する数々の貢献に、深く感謝いたします。

思えばこの日本石博、構想から実に9年の歳月を要して実現しました。前回「JAPAN STONE FAIR」が開催されたのは2005年でした。その終了後、「新しい時代にふさわしい新しいフェアを」という声が誰からともなくあがりました。それを受けてまずは「新フェア検討委員会」が、次に「新フェア準備委員会」が設置され、そして「新フェア実行委員会」を経て「NIPPON石博実行委員会」へと変体してきました。この間、大澤秀行委員長、吉田岳委員長、そして二上昌弘委員長により、その夢がだんだんとカタチになり、そして現実になりました。この間、けして順風満帆とはいきませんでした。昨年度の延期もそうですが、「生みの苦しみ」は数知れません。

私たちは微力かもしれませんが、けっして無力ではありません。やってやれないことはありません。やらずにできるわけはありません。「お墓参りという習慣の根ざした暮らしの豊かさ」と「石という素材の魅力と多様性」を、消費者に媚びず、時代のうねりに動ぜず、凜として発信して参りましょう。



NIPPON石博
実行委員長
ふた かみ あつ ひろ
二上昌弘

石材業界の未来へ向けた 新たな一歩

協会員の皆様、外部協力者の皆様のおかげをもちまして、NIPPON石博2015を無事、開催することができました。本当にありがとうございました。

2日間、生憎のお天気ではありましたが、非常に多くの方にご来場いただき、様々な形で石という素材に触れていただく良い機会になったと思います。会場内を歩いていると、そこかしこから、「面白いね」「楽しいね」「綺麗だね」「(職人さんて)すごいね」「美味しいね」という声が聞こえてきました。普段はなかなか触れることができない石に触れ、知り、感じていただいた、素直な声だったのでないでしょうか。

また、テレビ・ラジオなどのメディアによる広報、国士舘大学、東京芸術大学などの学術的な関わりを持つことができたことも、今後の協会にプラスに働く事になると思います。もちろん、様々な運営上の反省点もございます。実行委員会では総括を通して、後に活かせるよう、反省点をまとめていきます。

日本石材産業協会としては、石材業界の全国組織として、これからもますます一般消費者の方と広く関わる機会を持つべきだと思われれます。そうした中で、今回の石博のようなイベントは継続していくことでさらなる価値が生まれます。次回開催の時期や場所はまだ未定ですが、東京での開催にとどまらず、規模は違えども、全国各地でこのようなイベントが開催できることを期待したいと思います。

今回の石博が石材業界の未来に向けての新たな一歩となるよう、今後とも、協会員の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。



東京藝術大学
教授
はやし たけ し
林 武史

NIPPON石博を観て

上野恩賜公園で開催されたNIPPON石博に、私が訪れたのは3月8日の日曜日。これは、藝大の石彫研究室に案内が届いた時から、楽しみにしていた企画でした。当日は、生憎の雨模様ながら、多くの見学者が訪れており、会場には大きな花崗岩のモニュメントや、石あかりの小道を取り囲むようにいろいろなブースが立ち並んでいました。私がその中で特に目を引いたのは、『ふるさとの石』のテントでした。大きな日本地図を模したテーブルの上に、日本各地から産出された石のサンプルが配されていました。全国各地で多種多様な花崗岩や安山岩、砂岩などがこんなにも多く産出されていることに驚き、興味深く拝見しました。それぞれの色や肌合いの特質により用途も違い、私たちが日頃、目にする石とは異なる暖かさを感じ、日本の風土に触れたような展示でした。今後もこのようなユニークな企画が続けられることによって、日本の石の魅力が、より多くの方々に認知されることを期待しております。

連載 全国縦断支部紹介

宮崎県支部

支部長 **安倍昇**

支部設立 2009年2月



Q.1 県トリビア

日本で一番時間がゆっくり流れている宮崎県。鉄道は単線、高速道路は片側1車線・・・あわてない、あわてない雪は降らない、晴れの日が多い、外敵があまり来ない(交通の便が悪いから)・・・のんびり行こう

Q.2 県内のおススメの観光地はどこですか。

天孫降臨の地、神話の地 高千穂で悠久の時を感じましょう。

Q.3 地域の特産物・おススメの一品を紹介して下さい。

なんとと言っても延岡市発祥の「チキン南蛮」しかも「レストラン元祖おぐら」(義理の弟経営)鶏肉を甘酢とタルタルソースで食べる。

Q.4 県内の銘石を自慢して下さい。(もしくは有名な石造物)

平和の塔(八紘一宇)宮崎市
昭和15年に紀元2600年記念行事として建造。世界各地から切石を集め使用。高さ36.4m 戦前までは軍国色が強かったが現在は公園として憩いの場となる。

Q.5 土地のものを手土産にもっていくとしたら?

焼酎とさんさんと日光を浴びた私の笑顔(写真は笑顔ではありませんが気持ちの笑顔)

Q.6 支部の活動を教えてください。

4月総会・7月例会・秋の講師例会・忘年会又は新年会



Q.7 部員のユニークな方を紹介して下さい。

副支部長 田浦正則氏
下戸ですが、夜の街にはめっぽう詳しく、2次会の設定は全て彼にお任せです。

沖縄県支部

支部長 **屋良朝敏**

支部設立 2009年12月



Q.1 県トリビア

先祖事等を口寄せし相談に応じるユタという霊媒師がいる。お墓建立の相談にも応じる

Q.2 県内のおススメの観光地はどこですか。

ちゅら海水族館

Q.3 地域の特産物・おススメの一品を紹介して下さい。

沖縄産 海モズク 幹が太く食べごたえあり

Q.4 県内の銘石を自慢して下さい。(もしくは有名な石造物)

琉球石灰岩 県内最大の石造建築 首里城

Q.5 土地のものを手土産にもっていくとしたら?

琉球泡盛、とうふよう(豆腐を発酵させたものチーズ感覚の珍味)

Q.6 支部の活動を教えてください。

材に関する情報交換しながら、お互い得意な商品のやり取り 建築及び園芸資

新入会員紹介

会員数:1284名(2015年2月19日現在)

岩手県



東皋石材(有)
副代表:晴山祥悦
設立:平成17年5月
業種:墓石

福島県



株日本銘石
副代表:佐藤利男
設立:平成26年12月
業種:加工

地区活動報告

茨城県支部10周年

茨城県支部10周年記念式典 報告

2015年2月13日(金)

去る2月13日、茨城県つくば市のオークラフロンティアホテルつくばにて、茨城県支部設立10周年記念式典と講演が行われました。第一部の式典では歴代支部長表彰として、現支部長である飯島正彦支部長より、初代支部長の飯田久也氏、二代目支部長の友常千秋氏に表彰状が送られました。

第二部の講演会では「茨城県産花崗岩の東京デビュー”明治期における動向と展開をさぐる”と題して、現桜川市大和中央公民館の社会教育指導員である川俣正英氏の講演が行われました。皇居を中心とした明治期の近代化都市計画に伴い、良質な石材の産地として真壁・羽黒・稲田の石材採掘場の開発が一気に進み、大量の石材を産出するに至った歴史を参加者全員が再認識する機会となりました。講演後は祝賀パーティへと移り、設立から10年間の支部活動を全員で労い合い、盛大に閉会となりました。[広報委員 坂口 登]



歴代支部長と射会会長

事業案内 2015 4月~6月

石産協の行事はgoogleカレンダーにて公開しています。支部の活動などもご覧いただけますので是非ご活用ください。URLは石産協ホームページの最新情報からご確認いただけます。

4月23日(木)
第1回正副会長会議
東京都

5月7日(木)
監査
東京都

5月14日(木)
第1回理事会
東京都

6月11日(木)
第2回正副会長会議
東京都

6月25日(木)
第6回定時総会
大阪府

COLUMN 1 石産協への「感謝」

石産協の会員メリットに「感謝」

「会員メリット」がない、と言う声を聞くことがありますが、私は石産協で他では得られないメリットをたくさんいただいています。お墓ディレクターになって10年、石産協会員となり8年。その間ディレクターの資格は私にお墓のプロとしてのあるべき姿を示してくれています。そしてそれに恥じない自分を創るための学びを後押ししてくれているのがディレクター委員会です。毎年開催の「お墓ディレクター1級資格取得者研修会」で各地のお墓および関連業界の最新情報を多く学ぶことが出来ます。ディレクター委員会の皆さまの毎年の企画には本当に感謝です。私の所属する兵庫県支部では多くの皆さんが毎回毎回思いもよらないアイデアを持ち出してワクワクし、最終的には自分の仕事にもプラスになるような企画がいつも飛び出します。能島支部長はじめ支部の皆さんの少しでも楽しくこの業界を盛り上げていこうという想いの賜物です。これまでいろいろ委員会や会議に所属してきました。「中長期政策会議」ではチームリーダーとして産業廃棄物の基本をしっかりと学ばせてもらい、「研修委員会」では石産協から賞品を頂いた唯一の会員(ではないかと思う)「お墓物語」の優秀賞を頂きました。

これほどメリットを頂いている私が言うんですから間違いはないですが、積極的に関わることでメリットって出てくるのだと思います。外から傍観していてメリットってありえないのではないのでしょうか。



兵庫県 おおきた石材店
大北和彦

COLUMN 2 石材店の終活

石材店が終活の中心に

終活フェスタを開催する事を目指して、実行委員会を立ち上げて3年目を迎えます。地元でも終活を認知して頂き、シニア層の方々に終活を通して前向きに楽しく生きて頂きたい、お墓や供養の事をもっと考えて貰いたい、そんな思いを形にする為には自分が中心になって立ち上げよう、という思いで仲間を集めました。お陰様で、終活フェスタを県内で最初に開催でき、新聞・テレビ等にも取り上げて頂き、思った以上の反響を頂きました。ご来場頂きやすい様にショッピングセンターで開催したのも良かったと思います。現在は、開催毎に皆で課題点を工夫しながら楽しみながら進めています。エンディングノートも地元の風習に合わせて自分たちで作成しました。終活カウンセラーの資格も取りました。カウンセラーがいる石材店としてもPRし窓口を広げられ、カウンセラーとして活動する事で、意図せず色んな所で自然とPRにもなり、先日はシニアクラブ・自治振興会の講座に講師として招かれました。順調に知名度も上がって、フェスタも継続的に開催予定です。自分が中心となって引張って行く事は、大変な事も多いですが、石材店から発信出来る終活の取り組み方の一つだと思います。



福井県 宝木石材有限会社
代表取締役 宝木幹夫

COLUMN 3 素敵なお客様

強いこだわりを持たれるお施主様との出会い

日々の仕事の中でこだわりを持たれるお施主様と出会うことはそう珍しくありませんが、今回のお施主様は中でもとびきりのこだわりをもたれていました。開口一番、「お宅は石の話ができるのか」と言われ、うちは石屋ですから石の話は当然できますとお答えしたところからはじまりました。墓地を確認に行くとき大きな木が生えているではありませんか。昨今、墓地内の木々は、お墓への影響や管理の問題でどんどん伐採の方向にあります。おかげで夏の墓地は、石が焼けて暑いこと暑いこと。今回ひょんなことからチェーンソーアートを思いつき、ダメもどでお施主様に提案したところ、ちょうどご家族の中でも伐採を心もとないと感じておられたようでした。お施主様には、了解いただきましたが今度はお寺さまに了解いただけるのか心配でしたが、ちょうどお寺の象徴でもある「龍」を彫刻するというと喜んでご理解をいただきました。チェーンソーアートは、数々の世界タイトルをお持ちの城所さんにお願ひし、約1週間で立派な「龍」が出来上がりました。お墓本体も何度も何度もデザインについて打合せを行い、石という素材をどこまで希望通りの加工ができるのかをサンプルを出したり、過去の仕事を見てもらったりして納得いただきました。お施主様の思いが、お墓本体だけでなくお墓全体に反映された今回の仕事は、とても考えさせられることが多く、今後の仕事に非常にプラスになりました。



京都府 有限会社北尾石材
代表取締役 水野充弘(近畿地区長)

▶新コラムへの記事を募集しています。

今号より石産協会員であればどなたも寄稿ができる新コラムの連載を進めております。連載のテーマは上記の3つ、①石産協への「感謝」②石材店の終活③素敵なお客様、となります。次回の石産協通信の発行は2015年5月15日です。ご興味のある方は、4月中旬までに、石産協事務局【広報委員会】へどしどしご応募ください。

E-mail office@japan-stone.org Fax.03-3251-7681 お待ちしております!

始動!!!
石工男子プロジェクト!

私たち石工の仕事を、より多くの一般の方(特に女性!)へ知っていただくために、業界を代表するイケメン石工集団を結成したいと思います。屈強な肉体(?)と供養の精神で、世の女性のハートをわしづかみ!(笑) 自薦、他薦問いません。詳細は決定次第発表します。お楽しみに。

お問い合わせは
広報委員 小田
090-6289-3623

お墓ディレクターNEWS

第11回お墓ディレクター検定試験 全国646人が受検！2015年1月28日(水)

2年ぶりとなる「第11回お墓ディレクター検定試験」が全国7会場にて開催されました。1級受検者数は172名、2級は474名、それぞれの合格率は、1級10.5%、2級95.6%でした(合格点70点)。お墓ディレクター委員会としても、2年ぶりの開催設営ということで多少の不安もありましたが、全国7会場とも問題なく終了することが出来、ほっとしております。
また、第12回の開催に向けてより良い検定試験を実施するために継続して議論を重ねて参ります。



2級試験開始前の様子(東京会場)

お墓ディレクター資格更新、3月31日(火)まで!!
(認定番号「04-」「09-」で始まる方。対象者には更新書類を送付済です)
更新手続き未提出の方、まもなく締め切りです！資格を失効すると再受検となりますのでご注意ください。

1級取得者研修会 3月25日(水)~26日(木)京都テルサにて!
毎年恒例の1級取得者限定の研修会です。今回は、日本海洋散骨協会会長・村田ますみ様、榎大橋石材店・大橋理宏氏(神奈川県支部)を講師にお迎えしてセミナーを行います。テーマは「変わる日本人の墓意識」。研修会の様子は次号にてご報告いたします。

第6回定時総会のご案内 2015年6月25日(木)@大阪市中央公会堂

第6回定時総会は大阪で開催することが決定しました。近畿地区では実行委員会を立ち上げ、会員の皆さまが参加したくなる、今までにない基調講演、オプションツアーを企画しています。詳細は同封のパンフレットをご覧ください。なお、定時総会はずべての正会員に協会運営を議決する権利があります。必ず出欠の意思を提出してください。(出欠に係らず委任状が必要です)

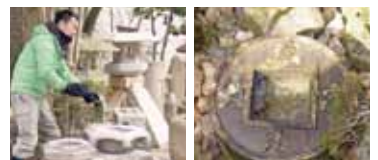
部会活動報告

輸入卸商部会・関連部会合同会議 開催報告

2015年2月12日(木)・13日(金) @ハートピア京都

12日は双方の定例会議を個別に行い、その後合同部会を開催。その内容は三和研磨工業株竹ノ内社長(関連部会長)から欧米や中東の展示会に出展する自社の海外展開についての話と聞き、数人ずつのグループに分かれて「今後どのように海外と関わっていききたいか」という議題で活発な意見交換がなされました。参加者からの反響も好評で、今後、地区大会などで同内容のワークショップを展開しても良いかと考えました。

翌13日は北山都乾園様において灯笼や手水鉢などの造園の石材のお話を聞き、名門寺院の有名な灯笼を伝統工芸士の方がうつつてつくられた灯笼も沢山ありました。また竜安寺の見学では、雪が舞う中、枯山水の方丈庭園や、吾唯足知「われ、ただ足を知る」と彫刻された本物の手水鉢を鑑賞しました。京都の文化財を鑑賞し、京都人の郷土愛や誇りを学び、有意義な会議と研修会となりました。[輸入卸商部会長 望月秀康]



研修委員会からのお知らせ

このたび研修委員会では講師リストを作成し、石産協ホームページ上にアップしました。詳細を同封しますので、支部・地区・部会・委員会などで講師をお探しの際は、ぜひご活用ください。
[研修委員長 大代賢太郎]

編集後記 [広報委員 中村裕貴]

私たち広報委員会では、石産協通信をより多くの会員に見ていただくことを目的として、今号より会員であればどなたも寄稿ができる新コラムの連載をはじめました。全国1,300社の会員へ情報の発信と共有をお願いできれば幸いです。

併せて広報委員会では、発行号ごとに編集長なる役職を設けることとなりました!記念すべき初回の編集長は、借越ながら私中村が務めさせていただきました…。初めての作業に戸惑いながらも、会議ではメンバーと一緒にわいわいしながら作りました。ありがとうございました。広報委員会は随時メンバーを募集しております!!次回の委員会は2015年4月8日(水)を事務局で予定しておりますので、初めての方もぜひご参加ください。



委員会・部会活動(3月~5月)

3月25日(水) / 26日(木)	お墓ディレクター1級資格取得者研修会	京都府	毎年恒例お墓ディレクター1級資格取得者のスキル向上を目的とした研修会です。
4月8日(水)	広報委員会	東京都	2か月に1度開催の定例委員会です。
4月9日(木)	NIPPON石博実行委員会	東京都	振り返りと今後の活動について
4月10日(金)	墓石部会	東京都	産経新聞社赤堀氏を講師に迎え、部会を開催します。
4月14日(火)	輸入卸商部会	東京都	2か月に1度開催の定例で情報交換が活発に行われています。
4月22日(水)	関連部会	東京都	竹ノ内部会長の趣向を凝らした部会が人気です。
5月13日(水)	建築環境部会	東京都	建築業界の情報交換が有益です。

情報は、石産協事務局【広報委員会】宛 **お待ちしております!**
E-mail:office@japan-stone.org Fax:03-3251-7681